

“ゴスペルワークショップとは？”

このゴスペルワークショップの主な目標は、
ゴスペル音楽を歌うときの基礎と基本的なルールを学ぶことです。

「初心忘るべからず」(学び始めたときの新鮮な気持ちを忘れてはいけない)

(1) 発音、耳のトレーニング、メロディー

参加者のみなさんは歌を録音してください。テープレコーダー、スマートフォンなど、どんな録音機器でもかまいません。私からもみなさんに曲のテープを差し上げます。できるだけ何度も曲を聴いてください。

(2) コール&レスポンスを学ぶ。「言うことができれば歌えます」

17 世紀、米国の奴隷たちは“農場の叫び”すなわち、労働歌を歌いました。聖書に書かれている物語を歌った奴隷たちによるキリスト教の歌は霊歌と呼ばれ、どの曲にも共通するテーマは自由でした。

(3) 自然なリズム、動き、タイミング、手拍子

コネクター(英語の単語と単語の発音上のつながり)の使い方とパフォーマンスの仕方を学びます。

(4) 自然なフィーリングや精神、アレンジを伸ばすこと

覚え方を学びます。

(5) ゴスペル曲の意味や精神、および文化を理解すること

黒人霊歌とゴスペル曲を学びます。

(6) 楽譜：楽譜を希望する参加者のみなさんへ

“ゴスペル音楽の父”と呼ばれるトマス・ドーシー(1899 年生誕)による曲を特に提案します。彼によるゴスペル曲“Take My Hand, Precious Lord”をまず第一に学ぶとよいでしょう。トマス・ドーシー以前は、多くの黒人霊歌は作者不詳でした。